

## 持続ある東京高羽会

東京高羽会 会長 日南川裕一

同窓生の皆様におかれましては、ますます御健勝のことと御慶び申し上げます。

常日頃、東京高羽会の活動に対し絶大なる御支援、御協力を賜り心から感謝申し上げます。

東京高羽会は、同窓生の親睦を図ることを第一に、母校の応援団として在校生を支援する活動を活発に行っています。

今般、政府は今後の高校教育について、公立高校の再編を政府主導で行う改革計画を策定する方針を固めたとしています。高校授業料無償化などで私立高校に生徒が集中することが想定されることから、公立高校は地域に密着した教育を行い生徒に選ばれる学校になることが重要との考えを前面に出しています。

このような環境下において、母校はフレックス型単位制高校への移行を着実に進め評価を高めており、今回の改革計画で更なるステップアップを目指す絶好のチャンスだと考えております。

このチャンスを、東京高羽会としても後押しすることは重要な活動の一つです。

母校から優秀な卒業生が多く輩出されることは、ひいては関東に在住する同窓生の増加につながり、東京高羽会の規模拡大に資することになると判断しています。

これからの東京高羽会の規模拡大には、母校の活性化が不可欠です。

同窓生、在校生、そして教職員の「オール西田川」で叡智を結集し、東京高羽会を持続ある強固な組織に育てていきたいと考えております。

これからの東京高羽会の運営に関し、同窓生をはじめとする「オール西田川」の方々の御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。